

2024-25 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 寺 島 英 樹

幹事 佐 藤 宗 弘

奉仕プロジェクト
委員会委員長 宮 崎 秀 剛

会報写真担当 佐 藤 卓 立

令和 6 年 7 月 22 日(月) 第 3 回 通算第 1701 回例会

・ 例会日/月曜日 12:30 ・ 例会場/ウェディング エルティ ☎ (024) 535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

9:30~10:20 【会長幹事会 2F フォンC】

早川ガバナー・深澤副幹事・寺島会長・佐藤(宗)
幹事・宮崎会長エクスト・佐藤(卓)副幹事 6名

10:30~12:00 【クラブ協議会 2F シェラ】

早川ガバナー・阿部 AG・地区副幹事
分区幹事(1名) 4名
会長・幹事・会長エクスト・副幹事・他小委員長以上の
皆様 11名



第 3 回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘
◇ロータリーソング
「奉仕の理想」
ソングリーダー

寺島 英樹 会長



佐藤 慶行 会員

◇四つのテスト唱和
職業奉仕委員長
◇お客様並びにビジター紹介

齋藤 武二 会員

- RI 第 2530 地区 ガバナー
早川 敬介 様 (郡山北 RC)
- RI 第 2530 地区 県北第一分区 ガバナー補佐
阿部 正美 様 (福島 21RC)
- RI 第 2530 地区 副幹事
深澤 純一 様 (郡山北 RC)
- RI 第 2530 地区 北第一分区 幹事
野崎 正広 様 (福島 21RC)
- 米山記念奨学生
嵯 鐘源 さん

◇米山記念奨学金給付
7月分



◇新会員入会セレモニー 徽章贈呈



◇会長あいさつ

寺島 英樹 会長



会員の皆さま本日もご出席ありがとうございます。
本日は RI 第 2530 地区 早川啓介ガバナー、RI 第 2530 地区第一分区 阿部正美ガバナー補佐、RI 第 2530 地区 深沢純一副幹事、RI 第 2530 地区第一分区 野崎正広分区幹事をお迎えしてクラブ協議会を滞りなく終えることができました。あらためて心より感謝申し上げます。

早川ガバナーにおかれましては長年にわたり P T A 活動に従事されたと聞き、その点において、この後のガバナースピーチで我が西クラブの活動のヒントとなれば幸いです。

当クラブは、本年度23名の会員で活動するわけですが、ひとり一人の力を発揮してもらうためにクラブテーマを「The Force」と掲げました。

Forceという言葉には個々の「力、潜在能力」等々の意味を込めております。

会員ひとり一人が、どんなアイデアで社会奉仕をするのか？クラブ活動でどんな力を発揮するのか？会長としてその先導を務めてゆきたいと思ひます。

私は2011年に発生した東日本大震災でも、ロータリーの社会奉仕活動で貴重な体験しております。

当時、大橋パストガバナーによって県内各地域に避難された高校生に対し、地区から支給された P T A 活動費は当時の各高校の P T A に対し大きな支援となりました。

私はそのきっかけ作りに関わった事でロータリーの素晴らしさを体験出来ました。

ひとりのアイデアが大きな力となった経験は、今後も活かされていかなければならないと思っております。

今年度、早川ガバナーのもと次代を担う若者に対して様々な社会奉仕活動が引き継がれてゆく事を祈念して挨拶と致します。

◇幹事報告

佐藤 宗弘 幹事

○お知らせ

- 当クラブ次週例会は、18:30 よりエルティにて納涼夜間例会となっております。
- 7/27(土)13時より南東北総合卸センターにてクラブラーニングファシリテーターセミナーが開催されます。当クラブより、寺島会長、久米クラブラーニングファシリテーターが出席いたします。
- 7月ロータリーレートは1ドル161円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

委員長 久米 允彦 会員



○阿部正美ガバナー補佐

一年間お世話になります。

○寺島英樹会長

早川ガバナー、ようこそおいでくださいました。

○佐藤宗弘幹事

早川ガバナー、阿部ガバナー補佐、深澤地区副幹事、野崎分区幹事の来訪を歓迎致します。ご自愛専一にて、1年間ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

○久米允彦会員

早川ガバナー熱いさなか、ご指導賜りまして有難うございます。

○宮崎秀剛会員

早川ガバナーをはじめとする皆様、ようこそ我が福島西 RC にお越し下さいました。

早川ガバナー／深澤純一地区副幹事／野崎正広分区幹事／朝倉久仁男会員／大平謹一郎会員／黒澤信之会員／齋藤武二会員／佐久間政文会員／佐藤卓立会員／佐藤慶行会員／穴戸順一会員／高橋智弘会員／西形健吉会員／野尻榮一会員

本日のスマイリング BOX 集計 19 件 50,000 円

ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム

◆ガバナースピーチ

国際ロータリー第 2530 地区ガバナー

早川 敬介 様



公式訪問に際し、先ず自己紹介をさせていただきます。文書での紹介にはない部分を話させていただきます。

先ず、ロータリーとの出会いは、RID2530 1983-84 年度パストガバナーであります福島 RC の「田中善六」さんです。私の父と陸軍士官学校同期の 56 期でした。その関係で自宅を訪ねてくださったおり、今取り組んでおられる仕事やロータリーの話熱く話されました。今の社会科の教科書からは外された言葉「公職追放」を受けた二人でどのような社会貢献をしているのかの

話でした。＜ ※ 二本松市市長 故 大河内 鷹さんも同期 ＞

当時郡山市PTA連合会会長を受けていた私は傍で伺っていてとても感動し、秋の「市P連研究大会」に講演をお願いいたしました。その時から生き方の方向がロータリー活動に向かっていたように思います。

今話しましたが私の経歴にPTAがあり、日本PTA全国協議会 常務理事のときに提言した「中学生のインターンシップ事業」があります。

義務教育の目標は「職業を通した人生設計ができる人材の育成」にあるべきで、当時の成績だけを求める教育現場に異議を投げかけました。職業の目標を持った生徒の成績は、目標に向かって急激に伸びます。成績だけが良く有名大学を出ても「何をしていったら良いのかを見つられないもの」も出現していた時代です。

当時郡山北 RC より入会の勧誘をいただいておりますが、PTA 活動が多忙であったためお断りをしていました。「どうしても」との勧誘を受け、「皆さん方の事業所が中学生のインターンシップ受入事業所として協力していただけるのなら」との条件をつけて入会いたしました。入会以降新世代奉仕委員長をこの「中学生のインターンシップ事業」が定着するまで続けました。

郡山市内北部の中学校 5 校を中心に発表会を公民館・市民交流センターや視聴覚センターをお借りし実施して来ました。校長先生方にも参加いただいたこともあり、各校の取り組みの視点に違いがあることも刺激になり、発表の内容が毎年向上していること。また、会員の経歴や事業に取り組んできた経緯の発表を取り入れたことは、生徒たちへの刺激になっていたようです。

この「中学生のインターンシップ事業」にかかわられ、郡山市教育委員会へ異動された先生もおられ、10年目には、郡山市教育委員会と福島県教育委員会より推薦をいただき、平成24年1月26日「平成23年キャリア教育推進優良団体」として文部科学大臣表彰をいただいております。

このような社会貢献活動を続けてきたのには、もっと以前に契機(キッカケ)があります。

まだまだ若い36歳のとき、子どもたちが「飛行機に乗りたい」と言うことでお盆前に家族旅行を企画しました。お馴染みの東京ディズニーランドで一日遊び、夕方羽田から大阪へ飛行機で行って一泊し、翌日新幹線から富士を見せるという企画です。

1985年8月12日 JAL123 便に予約を入れましたが、全員分の席が確保できずにキャンセルし、夕方には自宅に戻りました。

両親を含めて夕食を摂り、TVを点けてびっくりです。私たちが乗ろうと予約を入れていた飛行機が「御巢鷹の峰に墜落しているとのNews」です。身体に鳥肌が立ちました。

その時の言葉は今でも忘れません。どうしてこのような言葉が出たのかは不思議です。「私たちは生残されたんだ。亡くなった520名の方々のためにも社会貢献に頑張っていきたいと思う。

みんなの命も同じだと思ふ。命を大切にしていこう。」と小さな子どもたちにも言っていました。これが契機で、次の世代の方々が活動しやすい環境造りに貢献する提言をしてきましたが、本日のメインは、「ロータリー

ーについて」の話になりますので、他に事例は省略させていただきます。

私が地区の委員会に所属するようになりましたのは、亡くなられた郡山西北 RC の伊藤 浩さんが2011-12年度ガバナーエレクトのときからです。新世代奉仕委員会ライラ委員長を仰せつかり3年間務めました。当時カタカナで「ライラ」と言っておりましたが、意味ある言葉ではないので英語での「RYLA」(Rotary Youth Leadership Awards)の頭文字に変更いただきました。

今年6月11-12日芳賀 裕実行委員長での「第16回全国RYLA研究会」では水野 功 RI 理事エレクトのエイドを拝命し、勤めさせていただきましたこと、深い縁を感じました。

来年は、5月10-11日2710地区 広島 安芸グランドホテルでの開催になります。

皆さんのクラブからRYLA研修会に研修生とともに参加いただき、地域の若者をロータリーファミリーとして育てていただきますようお願いいたします。

また、伊藤 浩さんが2012-13年度ガバナーのときに、田中作治 RI 会長には 来県されたとき「グローバル補助金でお世話になるのだから、会ってお話を伺っておきなさい。」と紹介をいただき、ご指導をいただきました。また、AKS の会合が東京であったときには、TRF-DRFC として参加させていただきました。地区のロータリー財団には委員長を含め6年間お世話になりました。

できるだけ多くのクラブに地区補助金DDFを使っていただけるよう、また年次基金「0クラブ」を無くそうと呼びかけ補助金申請は、前年度32のクラブから申請が出され、「0クラブ」はなんとか出さないで来れました。

ポリオプラスへの寄付「0クラブ」が未だあります。「ポリオ根絶はもうそこまで来ています。」ぜひポリオ根絶のためにご寄付のご協力をお願いいたします。

また、一昨年より米山記念奨学会委員会の事業にもかかわり、つくば市での「再会 in 関東」に参加してきました。

出身国の先輩方も多数参加しており、自分の国の先輩方と話をしてきた奨学生が「奨学金をいただいているときだけではなくですね。卒業後もかかわって行きたいです。」と話しておりました。

また、奨学生の面接官としての経験から、学校推薦で多くの学生応募があります。日本と出身国との懸け橋になるうとの意識を持った学生たちです。多くを合格させたいと思いますが、地区からの寄付額により、優秀な応募者を切らさう得ません。米山記念奨学会への寄付増額にご協力をお願いしたいと思います。

また、5月10-12日山形県天童市での「ロータリー日本青少年交換研究会 山形会議」に参加させていただきました。11日 日本に来て8ヶ月の学生たち代表24名の「日本語スピーチコンテスト」がありました。あまりにも上手な日本語で目頭が熱くなりました。

来年は、6月6-8日2830地区 青森 ホテル青森での開催になります。

私たち一人一人の寄付金が、大きく羽ばたいているプロジェクトに参加できた喜びを感じました。

当地区の公共イメージ・IT委員会主催の「マスコミ懇談会」が毎年開催されております。一昨年には他地区の方々も参加されました。

マスコミ側からロータリーへの提案が出されましたが、他地区の方々が「マスコミの方が、ロータリーを真剣に考えて提言してくださっていることに感動しました。」と言われました。

当地区には新聞社の支社の代表が会員なられています。ロータリーでの経験を通してご提言いただいていることがあると思います。指摘を受けるまでは気づかないでおりましたが、ロータリークラブの会員の構成が、多業種との交流となっている素晴らしいロータリーであるからこそその成果とも考えられます。

ガバナーエレクトの年度に招集する研修では、大変お世話になりました。

1. 地区チーム研修セミナーDTTS ⇒「地区チーム・ラーニングセミナー」DTLS
2. 会長エレクト研修セミナーPETS ⇒「会長エレクト・ラーニングセミナー」PELS
3. 地区研修・協議会 DTA ⇒「地区ラーニング協議会」DLA

実施以降に名称変更がなされておりますが、国際ロータリーの理事会での決定が未だの件もあり、決まり次第紹介してまいります。

※「アクションプランチャンピオン」は、「行動計画推進リーダー」に表記することに決定したと水野功RI理事からの2024.7.11.14:47のメールにありました。

私の所属する郡山北RCは、前年度創立50周年を迎えた、会員42名のクラブです。ホストクラブとして単独で全ての企画運営には困難があり、先に実施しました「地区研修・協議会」の際には、駐車場に停車できずに帰宅された方がいらっしゃったことを伺いました。大変申し訳なかったと思います。今後そのようなことが起こらないようにするために、中央分区のコ・ホストクラブの皆さん方の協力無しには行えません。また、地区の皆様方の自主的で積極的な参加と協力無しにはなし得ない多くの課題を乗り越えて行かねばなりません。ご理解の程よろしく願いいたします。

特に本年度が最後になるかもしれないと言われておりますのが、「RIテーマ」です。1年毎にあったテーマが、本当に達成されたのか？という意味があり、2023年12月30日水野功RI理事エレクトからのメールに「3-year Rolling Targets & Regional Plans 3年間の目標と地域計画」というメールが届きました。

3年を目途(もくと)として毎年見直ししながらロータリーの活性化を勧めて行くことです。

1月の「国際協議会」での解説は、Action Plan 行動計画の推進でした。帰国後には4月18-19日の「クラブ活性化セミナー」で詳細な説明があり、7月にスタートするために6月中には入力するよう要請がありました。

ガバナー補佐予定者の方々には資料をお送りし区内の次期会長への伝達をお願いし、やっと5月19日の「地区研修・協議会」を迎えました。これは「3-year Rolling Goals」の表記になりましたが、会長だけでなく3年後のビジョン作成に関わることから、クラブの「戦略計画委員会」にも関わっていただき、また、提出資料には過去3年間の資料の入力もあることから事務方の協力も必要になります。6月15日の「事務担当者セミナー」においてお願いしました。

先程申し上げましたように、会長エレクトとしての研修は終えておりますが、私の関心は各クラブにおいて十分な準備がなされているかです。

会員増強についてもZone-1Aの目標はZone-1です。私たちの意見がRI理事会で反映するよう目標を定めました。そのためには退会防止と会員増強になりますが、会員自身の活動が楽しいことが一番だと思います。

地区ラーニング委員会にガバナー補佐の経験者と大委員長とで構成いただきました。各委員会がセミナーを開催してきましたが、回数により会員数の小規模クラブでは、委員会を持っていません。会長・幹事に出席がしわ寄せしてしまっておりました。

地区委員会が共催や午前と午後で開催とか なんとか工夫ができないものを検討いただいております。

いよいよ新しい年度のスターになります。皆様方の企業のようにとは申せませんが、「近未来3年後のクラブの姿を描いて、目指して行く。」これまでにはなかった取り組みになります。

「クラブを活性し、会員のお一人お一人が、所属していて良かった、人生が豊かになったと実感していただけるクラブ造りに取り組んでいただきたいと思います。取り組みのリーダーは会長ですが、会員の方々お一人お一人が主役です。皆さんが主体的に世界を変える行動人として活動してください。」

結果として、本年度1クラブの実質会員増強2名を達成してください。

3年後に地区名と同じ数2530名以上の会員になることを達成、そしてその数を維持できるよう お願いいたします。

結びに、本年度の地区大会には、先に話をした若者への初めての取り組みを行います。学友委員会の廣澤俊樹委員長ばかりでなく、ローターアクト委員会の渡辺浩子委員長、青少年奉仕委員会の増子博保委員長、米山記念奨学会委員会の吉田喜一委員長にお願いし、それぞれの所属する学友にお集まりいただき、福島県と関わる幅広い方々に「学友ナイト」を通して交流を、後輩の指導にも関わっていただけるようお願いし、さらに将来のロータリアンになっていただけるよう働きかけたいと思っております。

1日目のリーダー研修セミナーには、「ロータリークラブに入ろう！」の著者で、第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐ARPIC、第2840地区2017-18年度ガバナーの「田中(たなか)久夫(ひさお)」高崎経済大学名誉教授に『クラブを活性化してロータリーを楽しもう！』と題して講演をお願いいたしました。全国各地で引っ張りだこの先生です。当地区の石黒秀司PDGも第1地域ARPICで、ご推薦をいただきました。

2日目の地区大会記念講演には、ワールドカップラグビーで活躍され郡山市フロンティア大使で、東芝ブレイブルーパス東京アンバサダーに就任されておられます「大野(おおの)均(ひとし)」さんに『弱小チームからワールドカップで勝つまで』と題して講演いただきます。

両講演が、皆様方のクラブの活性化に・そして会員増強につながることを大いに期待しております。

また、2日目には郡山ユラックス熱海から移動し、ホテル華の湯での「大懇親会」も企画しております。

地区内・外会員との交流を目玉にしております。飲酒運転にならないようお願いして参加を呼びかけますので、よろしくお願いいたします。

ご清聴いただきありがとうございます。



◇閉会点鐘

寺島 英樹 会長

◇会報カメラ担当

佐藤 卓立 公共イメージ委員会委員長

ガバナー晩餐会

ウェディングエルティにて県北第一分区・第二分区合同 2024-25 年度ガバナー歓迎晩餐会が開催されました。

日時：2024 年 7 月 19 日(金)18：30 より

場所：ウェディングエルティ

